

会 議 録

会議名	第2回木更津飛行場周辺まちづくり実施計画策定検討委員会		
開催日	令和6年9月13日（金）	場 所	駅前庁舎8階 防災室・会議室
時 間	午前10時00分～午前11時30分		
出席者	委員：鬼塚信弘委員、磯野綾委員、滝口隆士委員、高木厚行委員、碓井宏委員、 木村路久委員、中村みどり委員、渡辺則行委員、吉田究委員 事務局：企画部 安田次長 地域政策室 鈴木室長、栗田副主幹、鴫田係長、鈴木主任主事 株式会社日建設計 犬塚氏、渡辺氏、安富氏、三宅氏 （木更津飛行場周辺まちづくり実施計画（他3地区）策定支援業務受託者）		
議 題	1 第1回委員会議事内容等の確認 2 まちづくり実施計画（他3地区）中間報告		
公開・非公開の別	議題1～2 公開		
傍聴者数	3人		
配付資料	○会議次第 ○資料1 第1回委員会議事内容等の確認 まちづくり実施計画（他3地区）中間報告		
会議概要	別紙のとおり		

【会議の概要】

○事務局（鈴木主任主事）

本日はお忙しい中、お集まりいただき、誠にありがとうございます。
本日の会議は公開で行います。
また記録のため録音写真撮影をさせていただきますのでご了承ください。
会議の傍聴を希望される方がおりますので、ここで傍聴人の方に入っていただきます。

【傍聴人入場】

それではただ今より第2回木更津飛行場周辺まちづくり実施計画策定検討委員会を開催いたします。本日の司会進行を務めさせていただきます。企画部地域政策室の鈴木でございます。よろしくお願いいたします。

ここで会議の定足数についてご報告させていただきます。附属機関設置条例第6条第2項の規定によりまして、会議は委員の半数以上の出席がなければ開くことができないとなっておりますが、本日は9名の委員全員の出席をいただいておりますので、委員会は成立することをご報告させていただきます。

それでは初めに鬼塚委員長よりご挨拶をいただきたいと思います。鬼塚委員長よろしくお願いいたします。

○鬼塚委員長

本日は暑い中お集まりいただきましてありがとうございます。

7月に本委員会の第1回が開催され、このなかで出た検討課題ということで、まちづくり実施計画の中の江川総合運動場周辺、それから旧庁舎跡地と木更津駅周辺、そして回遊性の向上のこの4点を中心にしながら本日ご説明いただきまして、皆様方の活発なご意見・質疑等をいただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

○事務局（鈴木主任主事）

ありがとうございました。

それでは早速、議事に入りたいと思います。附属機関設置条例第6条第1項に委員長が会議の議長となる、とありますので、ここからの議事進行につきましては鬼塚委員長にお願いしたいと思います。鬼塚委員長よろしくお願いいたします。

○鬼塚委員長

それでは議事を進行いたします。なお、発言される場合は挙手をお願いします。

本日の議題は2件となっております。議題1「第1回委員会議事内容等の確認」及び議題2「まちづくり実施計画（他3地区）中間報告」はそれぞれ関連がありますので、一括の議題とさせていただきます。それでは事務局よりお願いいたします。

○事務局（鈴木室長）

それでは議題の1及び2につきましては、株式会社日建設計からご説明させていただきますので、よろしくお願いいたします。

【「資料1 第1回委員会議事内容等の確認」、「まちづくり実施計画（他3地区）中間報告」を説明】

○鬼塚委員長

議題1「第1回委員会議事内容等の確認」及び議題2「まちづくり実施計画（他3地区）中間報告」について説明がありましたが、ご意見ご質問などございますでしょうか。

○滝口委員

久津間の方に住んでおり、防災公園に関していくつか懸念事項と確認したいことがあります。

まず農道についてです。13ページの築山整備イメージ写真（千葉県旭市 日の出山公園）がちょうどいい例なのですが、道路以外に農道があります。そこに軽トラックが駐車している写真が写っておりますが、そこは大型農機具も走れるような農道であると思われます。これが理想ですよね。久津間地区は農地が広がっており、その農地を10年計画で効率的に農業がおこなわれるためにはどの様に農地の集約化を図っていくべきか検討している地域です。農業と離れられないところで、特に4～8月の農繁期にはトラクター等が通ると道路が汚れたりするので、一般道とは別に農道を造っていただければありがたいです。

2点目は、開発するにあたってホームレスの方々が住まわれるような環境にならないようにしてほしいです。

3点目は、この公園等の名称は今後決める予定でしょうか。単なる「築山」等ではなく名称や愛称は重要だと思います。

最後に、避難場所としての位置付けですが、私は築山だけだと思っていましたが、南の陸上競技場も避難場所になっているという説明がありました。ということは一時的に避難場所というよりも長期的な避難場所ということも考えられているのかということを確認させていただきたい。

○事務局（鵜田係長）

まず道路の関係についてですが、先日、久津間地区の方々にヒアリングをさせていただいた中でも、同じように道路を心配されているお声はいただきました。おっしゃるように道路全てを整備するのが理想ではありますが、今回の計画の中でどこまで提案できるかというところは課題になるかなと思っております。今年度の計画は、築山を作り、まずは安全に避難していただく、命を守っていただくということを最優先とした公園を考えていきたいと思っております。ですので、例えば、その避難路となる道路をまずは整備するなど、優先付けをしながら整備範囲等も検討していきたいと思っております。

2点目、ホームレスの方々の関係なのですけれども、この公園は日常的にも地区の皆さんですとか、訪れた方々に親しんでいただけるような公園にしていきたいと思っております。人が寄り付かなかったり人目がないところは、どうしても暗いイメージというのでも出てくるかなと思っておりますので、ぜひそこは日常的にも人が訪れるような公園を目指していきたいなと思っております。

3点目の名称につきましては、この計画の中で決めるということまでは残念ながら想定はしておりませんが、皆さんに親しんでいただける手段の1つとして名称や愛称は重要ですので、今後、公園設計を進めていながら考えていければいいかなと思っております。

最後の避難場所としての位置付けですが、江川総合運動場も指定緊急避難場所になっておりますが、こちらは津波の時は開設をしない避難場所となっております。一方、今回の築山は、津波の時にも開設をする避難場所ということで役割を分けております。ただ、どちらも屋内施設ではございませんので、あくまでも緊急的にこちらに避難をしていただいて、例えば津波が去り、落ち着いた段階で、もっと内陸側の指定避難所になる場所に移っていただくというような流れになると考えております。

○木村委員

6ページの江川総合運動場の運用状況についてですが、現状、合宿での宿泊の需要はあまり多くないという見解を示されているわけですが、中郷のスポーツヴィレッジをやっている担当者に確認したところ、ハイシーズンでは9割、年間だと4割が今利用されているそうです。また、ここ数年、全国の高校サッカー選手権で、熊本の大津高校が年末から年明けにかけて2軍及び応援団が宿泊並びにトレーニングを実施し、年明けて2日目ぐらいで大体オリンピックセンターに移動します。宿泊料が安いとか年末年始でも使えるなど環境を整備すれば、需要はさらに増えるかなと思っております。

スポーツ振興課を含めて木更津市としてどうあるべきか、というのを考えた方がいいのかなと思います。

実際、江川総合運動場は、週末の稼働率がすごく高く、市内のローカル大会並びに県内の大会、あとは東京ベイカップといったものと、東京、神奈川、千葉、埼玉、静岡からもチームが来るような大きな大会をやっており、そういったところも鑑みていただけたらなと思います。県外需要もあり、利用料金が安いということも魅力の1つだとは思っています。

また、回遊性と関連して、あのあたりは潮干狩りシーズンとかは週末になると渋滞が発生するので、どう緩和するかといった視点で、船や水上バスとかを金田のところから持ってくるのもあるかもしれません。さらに自転車の貸出とか多様なモビリティを用意することによって、より回遊性が向上できるのではないのかなと、個人的には思っております。

○事務局（鵜田係長）

合宿でのお話なのですけれども、今お話いただいたのは、中郷ヴィレッジにおける利用率が高い、という話をしていたのかなと思いますが、今回、資料の方でお示しさせていただいたのは、江川総合運動場の中での利用状況でございます。ただ、市全体としてかなり合宿のニーズというのは高いのかなというふうにお話を聞いていて思ったところでございます。ですので、民活エリアで、そういった合宿やスポーツ関連等での宿泊施設の可能性も探りながら、今後の民間事業者へのヒアリングのなかで方向性を探っていければと思っております。

2点目の金田の潮干狩り時期での渋滞というところは、これはもうこの計画だけではなくて市全体での課題と認識をしておき、ご迷惑をおかけしております。根本的な解決というところが示すのがなかなか難しいのですけれども、引き続き、庁内関係課含めて対応を考えていきたいなと思っております。

モビリティに関しましては、仕掛けのアイデアの一つとしては大変参考になるかなと思いますので、実現可能性も含めて検討していきたいなと思います。

○中村委員

ここまでのご説明を聞いて、水上バスとか自転車の活用など、回遊性の動きがだんだん見えてきていますが、例えば最近のテレビ番組で房総がかなり取りあげられていて、そういうのをきっかけに食べ物だとか、まだ興味があって動ける私たちシニア世代のことを考えると、ちょっと自転車は難しい。できれば楽をして移動できる水上の利用とか、もう少し交通の回遊性の年齢層を広げていただければと思います。

また、せっかくこれだけのメニューが出来てきているので、上手なアピール方法だとかさきほどの公園の愛称のお話とか、そういうものはやく積極的に取り入れることで、地域への興味がより湧いてくると思います。

○事務局（鵜田係長）

おっしゃるように、どうしても自転車ですと年齢が限られてしまう可能性もあるかなと思います。特に今考えておりますところで行くと、吾妻公園と木更津駅のところに関しては、シャトルバスですとか、多様な移動手段は確保していきたいと考えております。

また、それをほかの地区でどのように連携させていくかということになるかなと思いますので、いただいたご意見を参考にして、引き続き検討した上でご提案させていただければと思います。

○高木委員

江川総合運動場周辺地区の防災機能ということで、ここに備蓄倉庫、ソーラー電源とか災害用トイレ、かまど型ベンチと書いてありますけれども、基本的にはどのぐらいのものを作るのかという想定はありますか。

○事務局（鵜田係長）

築山の上にどういったものを、どれぐらいの規模をとというのは今後考えていくものとして、まだ詳細には決まっていないような状況でございます。築山上の広場面積が2,400㎡と広い面積がありますので、日常使いも含めてどういったものが必要なのか、それがいくつ必要なのか、災害の観点からも細かく検討した上で、ご提案させていただきたいと思っております。

○滝口委員

25ページの市場の関係なのですが、旧庁舎跡地に青果施設とか水産物施設できたとして、食の繋がりということでは市場直結の賑わい施設などは、木更津市内の商店街に助力を得ながら市の名産品などを開発してもいいのかなと思いました。

三井アウトレットが今後かなり広くなるような話もあるようですが、そういう人を呼びこんで、「食」とか「食育」とか強烈なインパクトとともにもっと人を巻き込むのがいいのかなという感じを受けました。

○事務局（鍋田係長）

市場予定地のところは、道路にも面しておりますし回遊性もかなり期待ができるかなと思っております。この市場の所にどういった賑わい施設を持っていくかというところは、この場ではなくてまた別のフェーズで、それぞれ卸売市場さんいらっしゃいますけども、市場関係者の方々からも意見を伺いながら作っていくものになろうかと思えます。

今日いただいた意見を参考にしながら引き続き、市場の再整備等、担当の方に伝えて取り組んでいければと思っております。

○碓井委員

卸売市場の碓井です。特に市場としては、移転に関することは承知をしておりますけれども、今回、木更津市が中心となるのですが、木更津市というよりもどちらかというと、ここから南部全域の業者さん関係の仕事も担っております。ですので、特に木更津市だけという風に限らず、他の市町村の方の協力もいただけるのであれば、そういうところも含めた考えをこれから少し広く取っていきたいという風に考えております。その辺もし差し支えなければ色々ご検討いただければと思います。

○事務局（鍋田係長）

ありがとうございます。貴重なご意見として大変参考にさせていただきます。

○鬼塚委員長

回遊性の向上に関して、江川の防災機能を備えた公園がレジャーや地域交流となると謳っており、28ページの「連携のしかけの分類イメージ」の所で、「ソフト的連携」で一番上が「スポーツイベント」となっていますが、本来は防災訓練などのソフト的連携をここに入れるべきではないかと思えます。この辺りはハードを作りますが、ハードを作ったらやはりある程度ソフトのイメージも作っていかないと防災機能として役に立たない。

さらに、ソフト面の所で少しハードルが高くなりますが、先ほどの合宿利用も含めて運動場の利用率が上がってきている中で、例えば、不定期の大会を途中で止めて防災訓練等するなどは難しいと思いますが、そういうこともありうるからソフト面でできるところのイメージをある程度膨らませないといけないと思います。

○事務局（鍋田係長）

ありがとうございます。貴重なご意見参考にさせていただきます。

○滝口委員

鬼塚委員長の防災訓練としてのソフト面に関するお話の関連です。久津間地区には第4分団第3部という地域の消防団があります。消防団本部はどういう対策をとるかわかりませんが、そういう

組織と連携していくというのも1つの手段かと思います。

○事務局（鵜田係長）

ありがとうございます。消防団の方々、災害時には地元の方々にとっても重要な存在になるかなと思いますので、連携というところも含め考えさせていただきます。

○吉田委員

広域的な回遊性に関する質問ですが、範囲としてはこの今示されている28ページ黄色い部分、ここがメインになるのでしょうか。広域というと木更津市全体の回遊や、房総全体での観光客が来た時にどういう風に受け止めていくのかそういうのも出てきそうな感じがしますが、今回検討する範囲としては、どちらかというと広域と言いながら金田地区あたりまでを含めた狭い範囲での回遊性のイメージになるのでしょうか。

○事務局（鵜田係長）

上位計画が、木更津飛行場周辺まちづくり基本構想でございますが、その構想が今お示しております範囲を対象としておりますので、基本的にはこの範囲の中での連携というところを考えていければと思っております。とはいえ、市はこの範囲だけではありませんので、市の他のエリアとの連携など可能性としてあればまた書いていきたいなと思っております。

○磯野委員

1点、28ページから30ページの図について質問ですが、28ページが現状の図というところで、アウトレットの金田の方から木更津駅前までの動線があるけれども、今後、整備される防災機能を有する公園、江川総合運動場と、あとは卸売市場への動線が今は表現されていない。一方で29ページからは方針図になろうかと思いますが、江川総合運動場の方へは動線を引き込むような形になっていますが、卸売市場には動線がなく、また30ページでは、潮浜公園や近くの公園と卸売市場を結ぶ水上の動線の表記はありますが、陸路の動線が表現されていないためここまでの回遊動線が見えない図となっています。ですので、29ページから30ページに回遊性をより高めているような動線を検討いただければと思います。

○日建設計（渡辺氏）

はい、ありがとうございます。

広域の図はどちらかというと北側にフォーカスした図になってしまっていますが、南側の情報も入れて全体像がより具体的にわかるようにブラッシュアップしていきたいと思います。

○吉田委員

回遊性の図の関連で、30ページの木更津駅と吾妻公園を結ぶようピンクの動線を概念的に表現されていますが、まるでここに道路ができるようなイメージにもつながるので、誤解のないよう表現の工夫を対応いただければと思います。

○鬼塚委員長

以上で本日の議事は全て終了いたしました。ご協力ありがとうございました。

○事務局（鈴木主任主事）

鬼塚委員長、ありがとうございました。

委員の皆様におかれましては、長時間のご質疑ありがとうございました。

それでは、以上をもちまして、「第2回木更津飛行場周辺まちづくり実施計画策定検討委員会」を終了させていただきます。

本日はありがとうございました。

第2回木更津飛行場周辺まちづくり実施計画策定検討委員会の内容について、上記のとおり確認する。

令和6年9月30日

木更津飛行場周辺まちづくり実施計画策定検討委員会委員長 鬼塚 信弘